

ロシア沿海地方における白鳥の中継地・ハンカ湖

神谷 要

東アジア・ガンカモネットワーク・国内コーディネーター

Anadidae National Co-ordinator, Japan: Asia-Pacific Migratory Waterbirds Conservation Strategy

筆者は、2004年6月6日に鳥類保護連盟の柳沢紀夫氏のご案内でロシア極東のハンカ湖周辺を訪れる機会を得た。ロシア国内でもこの地域は、ハクチョウ類の中継地として知られており、その状況について話を聞くことができたので報告する。

ロシア極東の沿海地方にあるハンカ湖は、中国とロシアとの国境にある湖で、ラムサール条約登録湿地であり、東アジア・ガンカモネットワークの参加地ともなっている。

東アジア・ガンカモネットワークのホームページ(<http://www.jawgp.org/onet/>)によるとハンカ湖は、310,000 ha, 44° 53' N, 132° 30' Eにあり、淡水湖で周囲をイネ科の湿性植生に覆われ、豊かな生物多様性を維持している。多くのガンカモ類が生息しており、特に繁殖期と渡りの季節に重要とされている。渡りの季節には、カモ類が300,000~350,000羽(主に、オナガガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ、コガモ)、ガン類は

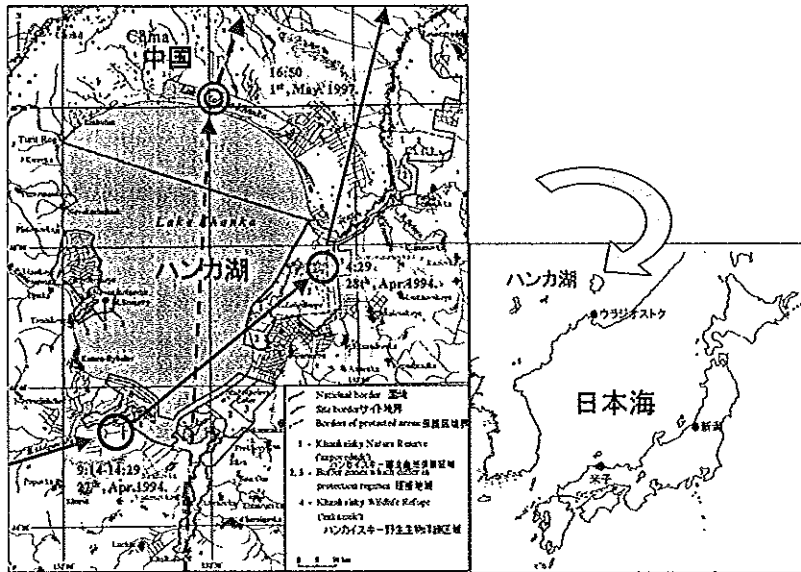


図1. ハンカ湖の地図(Krivenko (1999)改変)。○:1994年の調査でコハクチョウが利用した場所,
◎:1997年の調査でコハクチョウが利用した場所。

100,000~130,000羽(主にヒシクイやマガン), ハクチョウ類は 3,000~5,000羽(主にオオハクチョウ)が渡来する。ロシアの湿地について述べたKrivenko(2000)によると、ハンカ湖は、湖の周辺集水域のうち水田開発が盛んで、そこから農薬などの汚濁が流入し生態系が悪化しているとされる。

今回、訪れたのはハンカ湖東側にあたるレーベジーノ周辺(白鳥村)で、戦前の水田跡をハクチョウ類が渡り(4月と10月)でこのエリアを利用するそうである。筆者らが訪れた6月のこの場所では、放棄された草原のようになった水田跡ではコウノトリ・マナヅルが観察されたほか、マダラチュウヒがディスプレイを行い、ノビタキ・コジュリン・シベリアセンニュウが繁殖していた、また、灌漑用の狭い水路にはムジセッカが多く確認できた。整地された水田では、夏羽のクロハラアジサシとハジロクロハラアジサシが乱舞しており、カモ類も見ることができた。この地域の鳥類相について



図2. ハンカ湖周辺の湿地、中央は鳥のガイドをしてくれたリョウシヤ。



図3. 水田の景観、耕作され環境が維持されている。飛ぶ鳥は、ハジロクロハラアジサシ夏羽。

は、ちょっと古いがK. A. ヴォビョフ(1978)の著書の翻訳が出版されており、とてもいい資料となる。

また、1994・1997年に米子水鳥公園で行った調査では、米子水鳥公園を飛び立ったコハクチョウがハンカ湖の周辺を4月下旬に利用している(Kamiya & Ozaki 2002)。1994年の春のわたり調査では、4月28日(9:21-14:29)にハンカ湖南側のメルグノフカ川(44° 30' N 132° 12' E)にコハクチョウが滞在している。翌日(4月29日4:29)には、ハンカ湖の東側の保護区(44° 58' N 132° 55' E)にいたが、その日のうちに100km北上し、中国三江平原へ移動している。ガイドのリョウシャによると、「メルグノフカ川には、ハクチョウがいるが多くはない。」とのことであった。

また、1997年の調査では、4月27日19:57まで、ウラジオストーク周辺の湿地にいたコハクチョウが、次の受信である5月1日16:50には、ハンカ湖北側の中国領側(45° 20' N 132° 30' E)にいたことが記録されている。ただし、そのまま北上し、その日のうちに同様に中国三江平原へ移動している。どちらの年も、どれだけ長く見積もってもコハクチョウは、ハンカ湖を二日間しか利用していなかった。

筆者らは、この後、コウライアイサの繁殖地であるイワン川を小船で視察して、6月10日に帰国した。とのことであった。

引用文献

- ヴォロビョフ, K. A. (高橋清訳)1978. ウスリーの鳥. 野鳥の生態と分布. 上・下, たたら書房, 米子.
- Kaname, K. & Ozaki, K. 2002. Satellite tracking of Bewick's swan migration from Lake Nakaumi. *Waterbirds* 25(special publication 1):128-131,
- Krivenko. V.G. 2000. Wetlands in Russia Vol. 3, Wetlands on Ramsar Shadow List. Wetlands International Global Series No. 6, Wetland international, Wageningen.